

## 調査設計シート（例）

学生番号：17AK0001

氏 名：日経太郎

### 1. 調査タイトル

首都圏における大学生のアルバイトの実態に関するアンケート

### 2. 調査のテーマ

大学生のアルバイトにおいて、違法な長時間労働や賃金未払い、売れ残り商品の強制購入（自爆営業）、シフトの強要などの不当な働き方（いわゆる「ブラックバイト」）の実態を明らかにする。

### 3. 先行調査

厚生労働省「大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査」2015年  
ブラック企業対策プロジェクト「学生アルバイト全国調査結果」2015年  
沖縄労働局「学生のアルバイト実態等把握のためのアンケート調査」2016年  
京都ブラックバイト対策協議会「学生アルバイトの実態に関するアンケート」2017年

### 4. 調査の仮説

違法な労働の経験の有無は業種により異なる  
生活費のうちアルバイトへの依存度が高いほど違法な労働経験の際に断れない  
アルバイト時間が長いほど勉強に影響が出ている

### 5. 調査項目

労働条件（時給、1ヶ月の労働時間、夜勤の有無、業種、）  
アルバイトの目的（生活費のため、学費のため、遊ぶため）  
違法な労働の実態（労働条件通知、長時間労働、残業代不払い、強制購入、シフト強要）  
違法な労働への対応（相談した、改善を求めた、辞めた）  
勉強への影響  
属性（学年、性別、学部、住居 [自宅、自宅以外]）

### 6. 母集団・目標標本数

母集団：1都3県（東京、神奈川、千葉、埼玉）の大学に通う大学生 1,16,6000 人の  
80%（文部科学省「学校基本調査」2015年、沖縄労働局[2015]）  
目標標本数：384人